

主催 福岡市人権教育研究会・福岡市進路保障研究会

後援 福岡市教育委員会

第24回 夏期研究集会

すべての子どもたちが、毎日楽しく学校に通えるようにしよう！

開催日 2018年 8月1日(水)

※今年より1日開催となっております。

場所・日程 福岡市民会館 大ホール 他

9:00	9:30	10:00	12:00	13:30	14:00	16:30
受付	開会 行事	全体講演	昼食	受付	実践講座Ⅰ～Ⅴ	

参加費 2,000円 ※学生 無料

内容

全体講演 10:00～ 福岡市民会館 大ホール

「部落差別解消推進法を読む」(仮)

奥田 均 (近畿大学人権問題研究所 教授)

2016年12月16日に「部落差別の解消の推進に関する法律」が公布・施行されました。この法律の意義と今後の課題について詳しく解説していただきます。この法律が公布・施行されたことを生かしながら、今後私たちが部落差別を無くすために、何をしなければいけないのかについてご講演いただきます。

※全体会会場ロビーで人権教育に関する書籍の案内を行っております。是非ご利用ください。

※各会場とも駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

※各会場、空調の関係上、寒い場所があります。各自上着等で調整をお願いします。

※各会場ともに参加定員があります。定員を超えた場合、別会場へ変更をお願いします。

実践講座Ⅰ 福岡市民会館 大ホール

「『ぬくもり』で教える人権教育」(仮)

新谷 恭明(西南女学院大学 教授、『ぬくもり』第3版)検討委員会 委員長)

今年度発行された『ぬくもり』第3版中学校に掲載されている「水平社はかくしてうまれた」。この教材の「研究と指導」の作成者である新谷恭明先生に「研究と指導」にかかれてある内容について、わかりやすく解説していただきます。『ぬくもり』第3版5・6年生(下)に掲載されている「よき日のために」の授業をするうえでも、小学校の教員が知っておかなければならないことが盛り込まれています。さらに、『ぬくもり』第3版)検討委員長として、『ぬくもり』を通して子どもたちに何を学ばせるのか、そして学校教育に期待することについてもお話をさせていただきます。

実践講座Ⅱ 都久志会館 大ホール

「子どもの貧困問題を解決するために私たちができること」(仮)

金澤 ますみ(桃山学院大学 准教授)

大阪府でスクールソーシャルワーカー(SSW)をされた経験があり、学校現場にも詳しい金澤ますみ先生を講師にお迎えします。子どもや保護者を取り巻く貧困の実態や苦悩を解決するために、教職員が学校の中で取り組んでいくべきことと、学校の外の様々な機関と連携してできることについてお話をさせていただきます。

実践講座Ⅲ 都久志会館 4階

「進路保障をめざした学級集団づくり」(仮)

磯野 雅治(元関西大学講師、学級づくりサポートステーション“I”主宰)

子どもたちが、互いのくらしを見つめ合い、語り合い、共感し合うような仲間をつくっていく学級集団づくりの取り組みが、進路保障のためには重要です。そこで、今回は、大阪府で中学校の教師をされていた磯野雅治さんに、ご自身が取り組まれた「進路保障をめざした学級集団づくり」の実践についてお話をさせていただきます。

実践講座Ⅳ 天神クリスタルビル 大ホール

「『部落差別を無くしたい』～保護者という立場から～」(仮)

部落解放同盟福岡市協議会 保護者

昨年度の「賤称語指導の徹底」という言葉から一歩進んだ「賤称語指導の充実を図る」という文章が、今年度、福岡市教育委員会から出されました。「賤称語指導の充実を図る」ためには、『教える方法』も大切ですが、その前に『当事者の思いを知る』ということが最も重要です。講座Ⅳでは、被差別部落出身保護者の方に、子どもに対する思い、葛藤、学校に期待することや願いを語っていただきます。

実践講座Ⅴ ガーデンパレス ガーデンホール

「今こそ知っておきたい SOGIESC～セクシャルマイノリティの学習を子どもと進めていくために～」(仮)

石崎 杏理(FRENS 代表)

みなさんは、パートナーシップ宣誓制度を知っていますか？福岡市でも2018年4月から導入されました。今年度発行された、『ぬくもり』第3版中学校には「Like a Rainbow」が掲載されています。講座Ⅴでは、「Like a Rainbow」の作者でもあり、当事者でもある石崎さんに、私たち教職員が知っておくべきLGBTQに関する課題と「Like a Rainbow」に込められた思いや学校に期待すること、願いについてお話をさせていただきます。